

編集後記

『東海学園 言語・文学・文化』第十七号（通巻第七十六号）をお届けいたします。本誌は『東海学園国語国文』（一九七〇―二〇〇一年）の後続雑誌として再出発し、今年で十七年目を迎えました。継続して刊行できましたのも皆様の投稿があったることと感謝いたします。

一方で昨年、残念な知らせが届きました。二〇一七年四月十七日に小林幸夫先生が享年六十七歳で逝去されました。小林先生は本学会の代表を務め、学会運営にも長く携わってこられた先生でした。闘病中とうかがっていましたが、大学に復帰することなくこのような結果となり残念でなりません。今号には小林先生を追悼する論文や随想等が多く寄せられました。小林先生の本学会への貢献に感謝するとともに、先生のご冥福をお祈り申し上げます。

（小野）

東海学園 言語・文学・文化

第十七号（通巻第七十六号）

平成三十年三月二十日 印刷
平成三十年三月三十日 発行 非売品

編集 名古屋市天白区中平二丁目九〇一番地
発行 東海学園大学日本文化学会

代表

電話 (五五)八〇一―二二〇一

振替 〇〇八三〇一五―二九三二二

印刷所 豊橋市下地町字宮腰二四

(有) イシグロ 高速印刷